

JICA北海道センター(帯広)は、道東地域と世界をつなぐ国際協力のゲンバとして、北見市、北見工業大学や東京農業大学北海道オホーツクキャンパス等と連携した事業を行っております。

TICAD9(アフリカ開発会議) 2025年8月に横浜で開催!

アフリカ開発会議(Tokyo International Conference on African Development)は、アフリカの開発をテーマに日本政府が国連やアフリカ連合委員会(AUC)等と共同で開催する国際会議です。

今年は第9回目を日本(横浜)で8月20日~22日に開催します。
ぜひTICADを機に、身近にいるアフリカ人を知っていただきたいと思います!



帯広にて「ヨシダナギ パネル展」を開催

TICAD9開催にあわせ、写真家ヨシダナギ氏のパネル展を開催します。

5歳の頃テレビで見たマサイ族に魅了され、「いつか自分もマサイ族になりたい、なれる!」と望んだヨシダ氏が撮影したアフリカ諸国の先住民や少数民族の世界、お楽しみください。



JICA北海道センター(帯広)企画 「写真家ヨシダナギ パネル展」

2025年9月1日(月)~30日(火)

@JICA北海道センター(帯広)

他会場でも開催予定、詳細はJICA北海道(帯広)ウェブサイトへ

入退場自由・入場料無料

多文化共生についてのご相談はJICA北見デスクまで!

オホーツク地域の在留外国人に関するご相談や、多文化共生イベント、教育現場への出前講座等についてのご相談は、是非JICA北見デスクまでお気軽にご連絡ください! JICA海外協力隊参加のご相談も可能です。

JICA北見デスク連絡先 TEL:080-9525-1332

Mail:jica_kitami_desk@jica.go.jp

JICA北海道センター(帯広)公式ウェブサイト、Facebook、Instagramにてセンターの事業や活動、研修員の日常などを発信中。各種SNSのフォローよろしくお願いします!



ウェブサイト



Facebook



Instagram



北見工業大学のJICA研修員にインタビュー



お名前:アルマフ サハル
イザルティーン アブダッラー さん

出身国:スーダン

滞在期間:2024年9月~2026年9月

Q. スーダンと日本の大学の違いは?

A.日本では、教授はとてもフレンドリーで親切です。学生はオンラインで簡単に助言を求めることができ、実践的な研究を支援するための学術論文や資料も数多く用意されています。逆に、スーダンでこのようなサポートを得ることはとても難しく、スーダンで教育を修了する上で大きな障害となっています。

Q. 北見のおすすめスポットは?

A.北見のスキーは素晴らしいです。公園はリラックスするために最高で、6月初旬の桜は息をのむほど美しいです。

Q. 最も印象に残っている思い出は?

A.忘れられない体験は2つあります。ひとつは網走湖でのアイスフィッシングです。もうひとつは上湧別市に行ったとき、チューリップの美しさに心を奪われました。

From Africa



今年8月に横浜で開催されるアフリカ開発会議(TICAD)を記念して、2025年2号発行号に続き、道東地域で学んでいるアフリカからの長期研修員にインタビューをしました!



来日の目的:「スーダンのポートスーダンにおける水道インフラの評価と最適化」について研究しています。日本で得た知識を活かして、スーダンの持続可能な水供給に貢献したいです。

